

## 温羅(うら)じゃコース | 鬼ノ城からの流れと階田用水がおりなす水の道

- ① **矢喰(やぐい)神社** 鬼ノ城の鬼・温羅を退治しようとした吉備津彦命の放った矢と温羅の投げた石が空中でぶつかり落ちた所という。
- ② **血吸(ちすい)川** 吉備津彦命は二本の矢を同時に放ち、一本が温羅の目に命中。眼から流れ出た血が川となったという。
- ③ **階田(かいだ)用水始まり** 湛井十二箇郷用水の一部。生石地区をうるおす。砂川・桜川下をくぐり⑬の土合橋では足守川の下をくぐって門前側に流れる。スイゲンゼニタナゴ・シジミなどが生息するが捕獲は禁止。
- ④ **お地蔵様** 松山藩からの駆け落ち者が追手に切られた所という。

## 文英石仏コース(高松に多数ある文英石仏を巡り、岡山自動車道側道散策)

- ⑤ **庄内コミュニティ** 旧生石村役場跡。
- ⑥ **真福禅寺** 臨済宗。墓地内に文英石仏4体。
- ⑦ **高塚** 高塚遺跡(弥生時代の銅鐸・貸泉出土)がある地区。
- ⑧ **文英石仏説明板** 平成6年、足守川底で発見の半載文英石仏 1体。
- ⑨ **鏡善寺** 真言宗。旧藩主足守木下家祈願所。墓地に文英石仏2体。

## あおによしコース(門前地域は奈良・平安時代に大伽藍の存在推測)

- ⑩ **報恩禅寺** 臨済宗。1368年生石城主菩提寺として建立。旧報恩寺は生石神社の東。文英石仏4体(11面観音石仏もある。)文珠コース最終。
- ⑪ **養鶏場** 飼料と環境に恵まれた鶏を飼う。
- ⑫ **小山本村** かつて多数の神社仏閣が集合。文英石仏も多くある。

## 条里・水攻めコース(条里制=大化の改新のころからの土地区画)

- ⑬ **土合橋** 下土田からこの橋まで(419m)、水攻め堤防の副堤があった。この付近で足守川をせき止め、水を堤防内へ取り入れた(標柱あり)。
- ⑭ **鷺林庵(じゅりんあん)** 日継上人の庵。2.5mの巨大な無縫塔がある。
- ⑮ **高松城水攻め堤防跡** 堤防(下部幅20m、高さ7m、延長3km)の始まり。足守駅の南東側にある。国指定史跡。副堤防北端碑が少し上流にある。
- ⑯ **水辺の風景** 足守川にかかる下橋(流れ橋)・共栄橋・上橋(流れ橋)付近。
- ⑰ **スイゲンゼニタナゴ** コイ科バラタナゴ属の淡水魚。国内希少野生動物種

## 文珠コース(稚児文珠が多い。わが子の健やかな成長と学業成就を願う)

- ⑱ **生石神社** 1200~1300年も前から生石郷の氏神様。奈良時代の神名帳にもある。高松城水攻めでは加藤清正陣。境内に「生石」の名のもととも言われる地下深くから生えているような生石大明神の神石がある。神社周辺には古墳が多い。
- ⑲ **生石(報恩寺)山** 429バイパスで二分される。昔、山頂に城があった。生石神社下の馬場から生石山山頂を巡って報恩寺までに23体の文珠石仏がある。文殊信仰は江戸・天保期から明治初期に大流行。

# お い し 生石クイズにアタック!

つぎの質問に

全問正解のあなたは 生石考古人?!

正解1問以下のあなたは 生石新人?!

- Q1 福崎にあるのに「足守」駅とは変ですね。どうして足守?  
Q2 今は岡山自動車道で大山へは短期間で行けます。昔、大山詣での(大山道)が生石を起点にしていました。それはどこ?  
Q3 「馬揃(まぞろい)」と言う地名は何と関係があるの?  
Q4 十二箇郷用水(田中・福崎を流れる階田用水もその一部)は、妹尾の豪族妹尾太郎兼康が、高梁川・湛井堰を作り、用水路として妹尾まで整備しました。この大事業はいつの時代のこと?  
Q5 「庄内」小学校のネーミングは何から?  
Q6 マップに頻出する「文英石仏」はどのような石仏なの?

- A1 足守から福崎8kmが自分の土地という藤田連蔵氏が、総社・湛井から岡山市まで鉄道を敷設したとき、足守に駅をつくと迂回するため、足守にもっとも近い福崎に駅をつくり、自分の町の名を駅名にした。
- A2 大井川。旧大山道は、桜土手・生石神社前・門前・シコエタワを通り、吉川・尾原・落合を経て大山へ向かいました。
- A3 高松城水攻め。戦いの兵・馬が集まった所と地元で伝承。
- A4 平安時代末期(1182)。完成後、彼は木曾義仲と戦い、自刃。
- A5 明治28年、生石尋常小学校・高松尋常小学校・平山分教場を併合し、この地の旧名をとって庄内尋常小学校とネーミング。奈良・平安時代をとおして賀陽郡(かやごうり)生石郷といわれ、その後この地は生石荘の土地「しょうのうち」と称されていたという
- A6 僧文英および村人によって造られた備中高松を中心に存在する石仏。目じりの上がった三日月の眼、三角形の団子鼻、一文字に結んだおちよぼ口の面相で扁平な自然石に線刻彫りされている。造られた年代は戦国時代の1533~1582年の50年間(清水宗治時代)に限定。明治以後ほとんど地中から出土し(宗治死後、宗教弾圧で捨石されたと推測)、いろいろな場所に祀られている。現在(平成15年)73体、地下にはまだ多数埋蔵と推定。

作成者 岡山市生石地区愛育委員会、岡山市保健所・北保健センター

参考文献 郷里誌たかまつ 生石神社誌 蓬萊山報恩禅寺小史  
生石歴史探訪(パンフレット) 備中高松城水攻めの検証(林信男)  
僧文英と石仏(林信男) 庄内小学校90年誌  
インターネット(福崎町内会)

## お い し 生石地区



## 石と水が語る1000年の歴史とロマン



「ええとこ発見図」は、自分たちの住んでいる「地域の良さ」を再発見しようという視点で作成したものです。作成過程で、地域を何度も歩くことにより普段見過ごしていた大切な資源を再確認しあい、話し合いを重ねてつくりあげました。いろいろな人と知り合い、お互いを認めあうことで、この地域に住む人の「ええとこ」も再発見しました。そして、今まで以上に愛着が深まりました。この「ええとこ発見図」を利用して、ますます地域の絆が深まっていくことを願っています。

—作成者一同—